

広島県立学校保護者連絡システム構築・運用保守業務
公募型プロポーザルに係る提案書評価基準

次のとおり企画提案内容を評価し、最優秀提案者を決定する。

- (1) 表1に示す評価項目について、A～Eの5段階評価を行い、次のとおり点数化し、各評価項目の倍率を乗じて評価点の合計を算出する。

選定委員全員の評価点の合計が最も高い者（以下「最高得点者」という。）を最優秀提案者として決定する。

評価	A	B	C	D	E
評点	4点	3点	2点	1点	0点

- (2) 選定委員の評価において、「E評価」の項目がある者、または選定委員全員の評価点の合計が60%に満たない者（240点未満）は、原則として選定しない。

- (3) 最高得点者が複数いる場合は、提案金額の最も安価な者を最優秀提案者とする。

最高得点者が複数いる場合で、最高得点者の提案金額の最も安価な者が複数あるときは、最高得点者の提案金額の最も安価な者のうちから、くじ引きにより最優秀提案者を決定する。

【表1】 評価基準

	評価項目	評価内容	評点	倍率	配点
1	事業趣旨の理解	保護者連絡システムを導入する目的を十分に理解した提案となっているか	4～0 (A～E)	1	4
2	技術の妥当性	保護者からの欠席遅刻連絡やお知らせ配信など、学校の教職員の負担軽減及び保護者の利便性向上に資する十分な機能を備えているか		3	12
3	デザイン構成・操作性	システム画面が視覚的で分かりやすく、操作性に優れており、システムに習熟していない教職員も容易に操作ができるような工夫がなされているか		3	12
4	安全対策	保護者情報等の登録誤りやメッセージの誤送信などが生起しないような防止策が講じられており、実効性があるか		3	12
5	独自性	業務の効率化につながる拡張的な機能など、当該法人独自の特長的な機能を備えているか		2	8
6	セキュリティ対策等	個人情報保護やクラウドサービスの利用におけるセキュリティ対策等が適切で、円滑かつ安定的な運用・保守管理ができる仕組みが整っているか		3	12
7	支援体制	マニュアル整備や研修の実施、学校の教職員からの問い合わせ対応等を、迅速かつ適切に行うことができる支援体制が整っているか		3	12
8	業務実績	他の自治体や私立学校等における業務実績があり、十分な受注能力と当該法人の知識・経験・ノウハウ等が活かせるか		1	4
9	経費	次の算定式で評価する。 配点(4)×(提案者中の最低額)÷(当該提案者の額) 小数点以下を四捨五入		1	4
評価点の合計					80